

平成29年度 放課後デイサービス(いるかデイ中屋敷)自己評価・集計結果

- 1 目的 保護者と事業所それぞれが自己評価することで、日々の支援の在り方や業務について、再確認及び検討を加えより良いサービスの提供と充実を図る。
- 2 調査期間 平成30年3月1日～3月末日(最終収集4/25)
- 3 対象者 ・定期、不定期利用のある保護者27名へアンケート依頼し回答は25件(回収率93%)
・職員 4名へアンケート依頼(回収率100%)

4 実施結果

【事業所】

事業者向け自己評価・集計

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	評価・課題
環境・体制・整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		・定員内で受け入れている。・プレイルームごとに活動を分けている。利用者の体も成長してきていることから人数だけでなく活動内容との関係でスペースを見直す必要がある。・グループ分けでの活動を行っている。・活動や内容によりスペースを分割化し過密にならないよう程よい空間バランスの確保に努めている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	4			・送迎等で職員の出入はあるが利用者に目が行き届くように配置を工夫している。れパート職員の方を適切に使うよう努めている。・送迎で職員が出ている時や利用者さんの特性によって1対1になりその他手薄になる。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	・トイレや手洗い場に補助便座や台を設置している。・車椅子利用の児童は少ないためバリアフリーではないが背が低い児童のために台を用意するなどの配慮がある。・トイレに手すり、洗面所に踏台、活動部屋に机以外の物は置かずスペースにゆとりを持つ。	
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		・面談、話し合い等を行い目標などを書き出して目で見て分かる形で取り組んでいる。・朝礼で細かにミーティングを行っている。・不十分と思う。	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	4			・業務改善につなげることに心がけている。・アンケートの他に連絡帳や送迎の際に出た要望等について職員間でミーティング等で周知・確認対応している。	
	⑥	自己評価の結果を、事業所の解放やホームページ等で公開しているか		2	2	・整備中・・・。・自己評価について保護者への結果を公開した。ホームページでの公開予定はない。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	・第三者による外部評価。・外部評価の予定はないが内部で評価。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	4			・外部、事業団内研修の他に日々の支援について記録を取って意見交換している。・法人内研修への参加や外部団体等主催の研修へ極力参加している。・具体的な支援に係る研修の開拓。	

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2		・保護者面談を行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			・アセスメントシートの活用。・相談支援専門員との情報交換等しているが全利用者には至っていない。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・朝にミーティングを行い活動の話し合いを毎日行っている。日々の活動、行事について職員全員で話し合い意見交換している。・活動、行事について計画案をもとにし話し合い、活動の流れ及び利用者の対応について確認している。・日々のミーティングや職員会議で協議検討している。	
	⑫	活動プログラムが固定かしないよう工夫しているか	4			・経験の拡大を主眼に置いてプログラムをたてている。さらに模索する必要があると思う。・利用者個々の様子を考慮している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			・長期休みにはあらかじめ行事の予定を組み、支援に取り組んでいる。らい設定。・個々に課題を設定し支援へ繋げていく行く必要があると思う。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・個々の活動と全体でミーティングをしている。(運行・支援・分担・利用者の様子)・個々の児童の状況に応じた計画を立てる意識はしているが個々と集団の組み合わせについてさらに工夫していく必要である。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・毎朝、職員会議全員でミーティングをしている。(運行・支援・分担・利用者の様子)・全体で確認周知できるボードに記載して確認。パート職員にも周知している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4			・声を掛け合いボードに記入して情報を共有している。(口頭連絡にも記入して回覧)・朝のミーティング、及び適時利用者の様子を振り返り、次の支援について話し合っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・ミーティングで情報共有。個別ケース、日誌記入。職員会議などその都度支援会議。活動日誌に記録して支援に活かす努力をしている。・日誌、ケース記録の記録。口頭連絡、連絡帳等にて得た重要事項について個別記録に残している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・保護者面談、・学校担任からの情報・日々のミーティングでの利用者についての様子、話し合い。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	2	2		・ガイドラインを参考とし参考書として支援の振り返りをおこなっているが不十分。	
	⑳	障害相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4			・担当者会議への参加していない(開催されているのか?)が相談員とはモニタリングやその都度様子を伝えあっている。(事業団の相談員が主)	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			・学校、担任により差はあるが様子や支援法について共有できるよう心がけている。	

関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医い等と連絡体制を整えている。		4		・てんかん発作が考えられ利用者について対処方法を保護者と確認している。保護者さんから伝えられているが主治医と事業所との直接やり取りはない。	
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4		・相談員や保護者からの情報所により把握する。・保護者、いるか教室、相談支援専門員、との情報交換。	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		2	2	・まだ、障害福祉サービスへ移行する年齢の利用者がいない。・将来的に移行する年齢むけて支援へ繋げていけるようにしたい。・他事業に移行できる年齢の対象利用者は現在いない。	
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	・事業所との具体的な関わりや専門的な助言を得る機会はない。	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	・他事業所との交流を行ったが今後も機会があれば実施して行きたい。・児童館との交流は相手側の態勢等で難しいと思います。	
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	2	相談員に係る研修、情報交換会が中心で放デイに係る研修等は非常に少なく、連絡会に類する会議の情報はなく、開催されておりません。	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4			・送迎時の伝え合い。連絡張の活用。電話での相談。連絡ノート及び自宅送迎時に状況を伝えて、保護者と共通理解を深めるようにしている。・連絡帳も活用している。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	無回答1	・デイでの様子を伝えつつ対応するための情報の関わり方や上手い方法伝えるようにしている。保護者の対応や支援の中での様子を双方で伝えあい手立てを見つけたりする連携を行っている。	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・利用契約時や毎月の利用料に係る請求内容で示している。	
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・相談しやすい雰囲気や信頼関係の上で今後も職員の専門性を高め資質の向上が必要。	
	③⑫	父母の会活動を支援したり、保護者回答を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	・父母会がない。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・要望等に対して可能な限り速やかな対応を心がけている。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・要望に対しても検討の上対応している。写真をたくさん載せて活動のよう	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4			・会報誌(通信)への写真掲載承諾アンケートの実施。	

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮しているか	4			・声がけにの他に写真カード等提示している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2	・行事の開催招待は実施していない。・公民館等、地域の施設を積極的に理用している	
非常時等の対応	③⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		4		・職員に周知してマニュアルを掲示している。(感染症・運転事故)・自然災害時の緊急対応は現在準備中。	
	③⑨	非災害の発生に備えて定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		4		・定期的な避難訓練の実施、水害による避難訓練の実施している。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・日常的に虐待防止について確認している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承をえた上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			・個別支援計画に明示している。	
	④⑫	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			・保護者へのアンケート調査の実施。・食物アレルギーの児童について情報の共有と十分な配慮をしている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・ヒヤリハットの記録、回覧、口頭での伝達と情報の共有。事故を未然に防ぐための方法の話し合い業務に反映している。予防策や対処の仕方等職員個々の意識を深める必要がある。	
			115	36	20	無回答 1	
			66.9%	20.9%	11.6%	0.6%	

全体として

- ・⑨⑩について、個別計画の作成に係る面談の実施を設けていますが、更に周知を図っていきます。また、相談、苦情等の対応について保護者の方々への働きかけや情報提供、職員の資質向上にも一層努力します。
- ・専門性を備えた支援、療育の充実や保護者への支援と信頼関係を深めるため、更に職員全員の資質の向上に努めていきます。
- ・事業所として管理面や運営等について、課題を明確にし改めて改善を図っていきます。
- ・非常時の対応について、マニュアルの整備や職員のリスクヘッジ意識を高め利用者へも周知徹底することで安心、安全の確保に努めていきます。
- ・定員10名に対して、稼働率が高いことから、新たな利用希望に応えることが難しい状況です。
- ・平成29年度は、経営分析を踏まえ支援・運営の安全管理を重要課題と捉え、受け入れ児童数、送迎コース・範囲の見直しを行っており、希望に沿えない場合もありました。今後は、安全管理の徹底を図りながら、利用希望に対応できるように努めていきます。